

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第2区分
【発行日】令和4年12月21日(2022.12.21)

【公開番号】特開2022-6453(P2022-6453A)
【公開日】令和4年1月13日(2022.1.13)
【年通号数】公開公報(特許)2022-005
【出願番号】特願2020-108678(P2020-108678)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 2 4 B

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和4年12月13日(2022.12.13)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ねじ部材を備え遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
表示手段と、
遊技媒体を貯留可能な貯留部と、
遊技媒体を払出すことが可能な払出部と、
上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路を形成する誘導
通路形成部と、
前記誘導通路形成部の上側を覆うように設けられたねじ落下制限部と、を備え、
前記有利状態に制御されるか否かを報知する報知演出を実行可能であり、
前記報知演出は、前記有利状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パー
トと、当該当否報知後であって前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行
されるエピローグパートと、を含んで構成され、
キャラクタが発するセリフ音が出力され、当該セリフ音に対して前記表示手段の特定領
域にセリフ字幕の表示を行い、
遊技者による特定動作を促す促進表示を行い、当該特定動作が行われることで、予告演
出を行い、
前記促進表示を行うタイミングにおいて、前記セリフ字幕の表示をせず、
前記ねじ落下制限部は、該ねじ落下制限部上に落下した遊技媒体が滞留せずに、かつ該
ねじ落下制限部上に落下したねじ部材が前記誘導通路形成部へ落下せずに該ねじ落下制限
部上に滞留可能に構成されている、
ことを特徴とする遊技機。

30

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

50

(A) ねじ部材を備え遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、
表示手段と、
遊技媒体を貯留可能な貯留部と、
遊技媒体を払出すことが可能な払出部と、
上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路を形成する誘導
通路形成部と、
前記誘導通路形成部の上側を覆うように設けられたねじ落下制限部と、を備え、
前記有利状態に制御されるか否かを報知する報知演出を実行可能であり、
前記報知演出は、前記有利状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パー
トと、当該当否報知後であって前記有利状態に制御される旨が決定されているときに実行
されるエピローグパートと、を含んで構成され、
キャラクタが発するセリフ音が出力され、当該セリフ音に対して前記表示手段の特定領
域にセリフ字幕の表示を行い、
遊技者による特定動作を促す促進表示を行い、当該特定動作が行われることで、予告演
出を行い、
前記促進表示を行うタイミングにおいて、前記セリフ字幕の表示をせず、
前記ねじ落下制限部は、該ねじ落下制限部上に落下した遊技媒体が滞留せずに、かつ該
ねじ落下制限部上に落下したねじ部材が前記誘導通路形成部へ落下せずに該ねじ落下制限
部上に滞留可能に構成されている、
ことを特徴とする。

10

20

(1) 遊技者にとって有利な有利状態 (たとえば、大当り遊技状態) に制御可能な遊
 技機 (たとえば、遊技機 1) であって、
 前記有利状態に制御されるか否かを報知する報知演出 (たとえば、大当りとなるか否か
 を報知する報知演出) を実行可能であり、
 前記報知演出は、前記有利状態に制御されるか否かの当否が報知されるまでの導入パー
 ト (たとえば、煽りパート) と、当該当否報知後であって前記有利状態に制御される旨が
 決定されているときに実行されるエピローグパート (たとえば、当りエピローグパート)
 とを含んで構成され、
 前記報知演出は、第 1 報知演出 (たとえば、S P 後半リーチ A の報知演出) と第 2 報知
 演出 (たとえば、S P 最終リーチの報知演出) とを含み、
 前記第 1 報知演出および前記第 2 報知演出はいずれも、キャラクタが発するセリフ音が
 出力され、
 前記第 1 報知演出および前記第 2 報知演出はいずれも、キャラクタが発するセリフ音に
 対してセリフ字幕を表示するときと、セリフ字幕を表示しないときと、があり (たとえば
 、図 1 7 5 に示すように、セリフ音に対して字幕表示がされるときとされないときとがあ
 る)、

30

前記第 1 報知演出と前記第 2 報知演出とで、キャラクタが発するセリフ数が異なり (た
 とえば、図 1 7 5 に示すセリフ数)、

前記第 1 報知演出のエピローグパートにおいてキャラクタが発するセリフ音に対してセ
 リフ字幕を表示する割合は、前記第 1 報知演出の導入パートにおいてキャラクタが発する
 セリフ音に対してセリフ字幕を表示する割合よりも高く (たとえば、図 1 7 5 の S P 後半
 リーチ A の当りエピローグパートで字幕を付す割合は、S P 後半リーチ A の煽りパートで
 字幕を付す割合よりも高い)、

40

前記第 2 報知演出のエピローグパートにおいてキャラクタが発するセリフ音に対してセ
 リフ字幕を表示する割合は、前記第 2 報知演出の導入パートにおいてキャラクタが発する
 セリフ音に対してセリフ字幕を表示する割合よりも高く (たとえば、図 1 7 5 の S P 最終
 リーチの当りエピローグパートで字幕を付す割合は、S P 最終リーチの煽りパートで字幕
 を付す割合よりも高い)、

さらに、

遊技媒体 (例えば、遊技球 P) を貯留可能な貯留部 (例えば、球タンク形成部 2 0 1)

50

と、

遊技媒体を払出すことが可能な払出部（例えば、払出装置 2 0 0 ）と、

上面が開口し、前記貯留部の遊技媒体を前記払出部に誘導する誘導通路（例えば、第 1 誘導通路や第 2 誘導通路）を形成する誘導通路形成部（例えば、第 1 誘導通路形成部 2 0 2 や第 2 誘導通路形成部 2 0 4 ）と、

前記誘導通路形成部の上面の一部を覆うように設けられたカバー部（例えば、第 1 カバー体 3 1 0、第 2 カバー体 3 2 0、第 3 カバー体 3 3 0 ）と、

を備え、

前記カバー部に、該カバー部上に落下したねじ部材（例えば、ねじ部材 N 1 ~ N 6、N 1 1 ~ N 1 6 ）の前記誘導通路形成部への落下を制限するための所定制限部（例えば、長孔 3 1 6 A ~ 3 1 6 C、凹溝 3 2 6 A ~ 3 2 6 C、凹部 3 3 6 ）が設けられ（図 2 9 5、図 2 9 7 参照）、

前記誘導通路形成部に、該誘導通路形成部に落下したねじ部材の前記払出部への移動を制限するための特定制限部（例えば、孔部 2 7 1 A ~ 2 7 1 H ）が複数設けられている（図 2 8 4、図 2 8 5、図 3 0 0 参照）

ことを特徴としている。

このような構成によれば、実行される一連の演出をより好適に見せることができる。また、カバー部上に落下したねじ部材が誘導通路形成部内に落下することを防止することができる。また、誘導通路形成部内に混入したねじ部材が払出部に混入することを防止することができる。

10

20

30

40

50